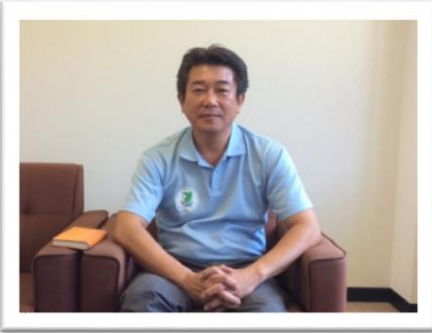


## インタビュー

福岡の持続的発展につながる活動をしている方々にインタビューしてきました。

**オイスカ** 9月11日、オイスカ西日本研修センターの廣瀬所長にインタビューしました。オイスカは、開発途上国の地域産業を支えるリーダーを育てることを目的に、農業の研修を行っています。1961年に設



立され、現在34の国と地域に組織を持つ国際NGOです。福岡は、設立47年目、これまでに25か国1,413名の研修を行いました。研修は日本語。様々な国から来ているので、英語が共通語にはならないとのこと。日本語を勉強し、福岡で1年以上過ごしたことのある方々の、この国際的なネットワークは福岡の大きな財産だなと感じました。廣瀬所長も、今後、この繋がりを活かした事業を展開していきたいと考えているそうです。

**福岡市環境局エネルギー政策課** 9月16日、松岡さんと野下さんにインタビューしました。再生可能エネルギーの拡充は急務の課題です。福岡市は、昨年6月、環境・エネルギー戦略を策定し、2030年度末に市内の再生可能エネルギーによる発電規模40万kW以上を目標にしています。そのうち、25%（10万kW）は市の施設で、75%（30万kW）は民間の施設で発電するというものです。2012年度末、市の施設は7.2万kW、民間は3.9



万kWの発電量なので、市が1.4倍に対し、民間は7.7倍に増やす計算になります。仮に、戸建住宅で計算した場合、平均発電出力は約5kWなので、2030年までに52,200軒の戸建住宅に設置することが必要です。このため、福岡市は、太陽光発電システムなどを住宅に設置する方へ補助金を交付しています。今年度予算は約1.4億円で、1,000件程度の交付を予定しています。しかしながら、市の補助金だけでは、再生可能エネルギーの導入目標達成が困難であることから、固定価格買取制度や補助金などの予算措置ではなく、条例などの法的な仕組みで推進していくことが重要ではないかと思いました。特に、福岡市は戸建住宅の割合が少なく、7割以上が集合住宅という状況を考慮すれば、福岡市独自の推進方策もあるのではないかと思います。

**福岡グリーンヘルパーの会** 10月18日、理事長の山前さんと広報の下条さんにインタビューしました。福岡グリーンヘルパーの会は、九州大学伊都キャンパスの九大生物多様性保全ゾーンで、森の保全活動を行っています。植林するための苗も育てています。インタビューした日は、「第16回どんぐりの森をつくろう！」というイベントが行われており、親子合わせて約130名の方が参加し、どんぐり拾いを行っていました。集めたどんぐりを苗に育て、森に植林するとのこと。森の外から木を持ってくるわけではないんですね。ちなみに、「どんぐり」と言ってもいろいろな形や大きさのものがああります。「どんぐり」はブナ科の果実の総称です。さて、福岡グリーンヘルパーの会も発足から15年が経過し、新たなメンバーを必要としています。福岡の森と緑を守るため、ぜひ、ご参加を！



我々の世界を変革する：

## 持続可能な開発のための 2030 アジェンダ

国連が中心となり、世界を持続可能なものに変革するためのプロジェクトが始動しました。1. 貧困をなくす。2. 飢餓をなくす。3. 健康である。4. 質の高い教育を受けられる。5. 男女が平等である。6. 清潔な水と衛生的な環境がある。7. 再生可能エネルギーが使える。8. ちゃんとした仕事と経済成長がある。9. 新しい技術とインフラが作られる。10. 不平等を減らす。11. 持続可能なまちと地域社会を作る。12. 持続可能な生産と消費を行う。13. 気候変動への対策をとる。14. 海の資源を守る。15. 陸上の生き物を守る。16. 平和で公正な社会を作る。17. 目標のために協力する。これら 17 の目標の実現は 2030 年。  
国連は、誰一人として取り残さない、と決意しています。



編集後記：皆様のおかげで第 2 号を発行できました。より多くの方々に読んでいただき、興味を持ち携わっていく方が増えれば各団体の発展に繋がり、我々としてもうれしい限りです。(内田)

### 【発行者】

特定非営利活動法人イマジ  
福岡市早良区祖原 14-20  
Tel 092-841-3010  
Email info@imagine.or.jp



サステナブルシティ福岡キャンペーン

<http://sustainablecityfukuoka.jp>

# For You and For Me

第 2 号 2015 年 12 月

## ご挨拶

サスティナブル・シティ福岡キャンペーンを始めて早半年が経ちました。これまでに 7 つの団体等にインタビューを行いました。健康、子育て、農業、エネルギーなど、様々な分野で頑張っておられる方々にお話を伺うと、全く違った福岡の姿が見えてきます。この小誌を通じて少しでも多くの方が、福岡に芽吹いている持続可能な都市への変革の様子を知っていただくと幸甚です。

特定非営利活動法人イマジ

理事長 渡辺久也



## 特集：「2030 アジェンダ」ってなん？

今年 9 月、安倍総理も出席した国連総会で、世界を持続可能なものに変革するため、2030 年までの実現をめざす 17 のゴールと 169 のターゲットが合意されました。それが「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」です。先進国も開発途上国も、国連に加盟するすべての国が協力して取り組むプロジェクトです。

← 詳しくは裏表紙をご覧ください。

イベント情報： 2016/3/26、「新しい絆フォーラム」が開催されます。里親制度に関心のある方は是非ご参加ください。詳しくは子ども NPO センター福岡 (Tel.092-716-5095) へ。